



## 個展報告など

昨年の2月8日から3月22日まで、私の地元の大府市歴史民俗資料館にて「鬼頭正信 鍛金の世界展」と称し個展を開催させていただきました。

大府市の企画による展覧会であり、とても貴重な機会をいただきましたが、まさかの新型コロナウイルスの発生のため、もどかしい思いをしながら辛うじて会期を全ういたしました。

後半は徐々に閉館の雰囲気になり作品説明会も開けないという厳しい状況でありました。

そんな状況でもCDAの皆さんには大勢ご来場いただきとても感謝しています。

会場は100㎡余りの広さがありましたので、学生時代の塑像作品から最近の作品まで50年間の様々を展示しました。幸い展示什器も種々有りまして小さな作品や資料類も展示することができましたので展示作品数は100点を越えました。また、各地に設置した屋外モニュメントなどはモニターにより画像でご覧いただく形としました。



DMチラシ (部分)



モニターによる紹介など入り口左側



つづいて学生時代の作品や鍛金を始めたばかりの頃の物を展示

会場の様子





開発してきた鍛金の道具たちも自分にとってはとても大切なので抜粋だけですが展示しました。これまでこれらの道具はイベントや展覧会、ホームページなどで発表してきましたが、正式な公開をお薦めいただき、2019年度の道具学会研究発表フォーラムで発表し、論集には経緯を含めてやや詳細な内容を投稿しました。鍛金という特殊となってしまった技法のための道具なのですが、道具学会では理解していただけただけなので幸いです。



いつも展示するレリーフ「調和」、対立しがちな異なる価値観も共に認め合い共に活かすことで皆が幸せになってほしいというメッセージを含めた自分にとってとても大切な作品です。このデザインは日本建築学会東海賞の盾に長年使っていますが、この度「ナカクスマイル」の表彰盾にご採用とのお話、ちょっとためらいましたが、良い事に役立つなら光栄なこととして承諾しました。

以上、昨年の個展と関連の報告ですが、秋には「大府市文化芸術功労賞」をいただきました。長年大府市をベースに文化活動をしてきたことや市の文化系事業に協力してきたことなどへの評価とのことですが、今後その賞に相応しいよう更に精進するべしと肝に銘じております。これは大府市という小さな町でのことですが、CDAは中部という広い世界での活動であり、CDAの活動意義はとても高いです。

これからも皆さんと一緒に楽しく有意義な活動をさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。